

もてなしの心得学ぶ

模擬会社始動し講義視聴

諏美タウン に向け

10月23(土)24(日)両日に「諏美タウン」を計画する諏訪実業高校で、運営主体になる生徒の組織、模擬株式会社「SJカンパニー」が今月から始動した。19日には諏訪湖リゾートの白鳥和美社長の講義を全校生徒がオンラインで視聴し、来場者

をもてなす心得を学んだ。

本年度は事業本来の目的である▽生徒の企画力と行動力の向上▽コミュニケーション力の向上を柱に据え、全校生徒で学ぶことから取り組む。社員総会を兼ねた11日の初係会では、社長の両角龍斗さん(商業科3年)ら役員3人が白鳥社長にインタビューした映像

を使い、目的を達成するための行動や意識について学んだ。

この日はインタビュー映像の第2弾で、「お客様をもてなす心得」がテーマ。動画の中で、白鳥社長は「相手の目を見て話すことが苦手な人もいる。そんなときは首やマスクを見てほしい。安心してきる距離感もある」などとアドバイスした。更に「タウンを通して学びは必ず社会に役立つ。すごく楽しみになつた。私も絶対見に行きたい」とも励まし

た。

副社長の中山凌さん(商業科3年)は「態度や気持ちはお客さまに伝わる。やらされているのでなく、自らやる意識でやる。一番大切なのは笑顔」と、映像を見る全校生徒に呼び掛けていた。

「諏美タウン」は商業、情報会計、服飾の3科の生徒が一丸になり、販売実習の「諏美ショップ」で小学生の職業体験「キッズビジネスタウンすわ」を企画する。「諏美ショップ」は模擬株

式会社「SJカンパニー」を興し、生徒が出資した資本金を元手に、仕入れ、販売、会計処理業務に携わり、決算までを担っている。



オンラインの係会の最後に「一番大切なのは笑顔」と呼び掛ける中山副社長(左)と両角社長(右)